

TV
JUMPER for CANTV-NAVI
JUMPER for CAN

取 扱 説 明 書

この度は、BLITZ『TV JUMPER for CAN』ならびに、『TV-NAVI JUMPER for CAN』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
使用方法や諸注意に関しては、本取扱説明書をよくお読みになった上で、正しい使用方法でご使用をお願いします。

注 本製品は日本国内専用設計です。詳しくは、本取扱説明書「ご使用上の注意事項」をご覧ください。

重 本製品には、保証書が同梱されています。必ずカスタマー登録を行ってください。カスタマー登録されませんと、保証が無効になる場合がありますのでご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

重 取り付けや車種別の注意事項は、「車種別取付説明書」をよくお読みになった上で、ご使用ください。

● 自動車ディーラー入庫時について

本製品を装着すると車両の保証や点検が受けられない場合があります。車検、点検などの目的で車両を自動車ディーラーなどに入庫する場合は、本製品を取り外してから入庫してください。

注意記号

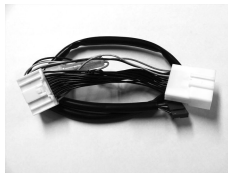
危	この表示を無視して誤ったご使用をすると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性が想定される内容であることを示しています。
警	この表示を無視して誤ったご使用をすると、法律に違反する可能性が想定される内容であることを示しています。
注	この表示を無視して誤って取り付けをすると、人が怪我を食う、もしくは、車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容であることを示しています。
重	本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

製品内容一覧

TV JUMPER 本体・・・1

コンパクトスイッチ
スイッチアダプター・・・1

車種別接続ハーネス・・・1



※製品によりコネクタ形状が写真と異なります。

本体固定用両面テープ・・・1

取付・取扱説明書・・・1

保証書・・・1

ご使用上の注意事項（必ずお読み下さい）

危	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中のテレビ視聴やナビゲーションの目的地設定をする為に開発された製品です。運転者は運転中絶対にテレビを見ないでください。また、ナビゲーションの操作及び目的地設定等も行わないでください。
警	運転者は走行中にモニター画面に表示された画像を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないでください。また、同乗者がいない場合に走行中テレビを映していると、安全運転義務違反となりますので、走行中はテレビを映さないでください。
重	テレビを見ながら走行中にナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。
重	走行中は電波の受信状況が悪くなる為、停車時に比べてテレビの映りが悪くなります。
重	スイッチをオンにした時から、ナビゲーションの自車位置が狂うことがあります。スイッチをオフにし、しばらく走行すると自社位置が正常な位置に戻ります。
重	本製品を取り付けても走行中に TV を見たり、ナビを操作したりすることを可能にする以外の機能はありません。
重	本製品を使用して発生した事故・違反行為・車両の故障または損害等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。
注	本製品は日本国内のみで使用が可能です。万が一、適合車種に取り付けていた場合でも日本国外で使用された場合は、保証の対象外になります。また、適合車種以外に取り付けた場合も保証の対象外になります。
注	車検や点検などで自動車ディーラーなどへ入庫する場合は、必ず本製品を取り外して入庫してください。

取り付け上の注意事項（必ずお読み下さい）

注	取り付けの際は必ず安全な場所でエンジンを停止させ、5 分以上経過してからバッテリーのマイナス端子を外し、作業を行ってください。また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまうので、あらかじめメモを取るなどをしてください。
注	車両内装のパネル及び部品等を外す場合は、破損・汚損及びネジ等の紛失には十分に注意して作業を行ってください。
注	コネクタを外す際は、コネクタのロックピンをしっかりと押さえて、まっすぐ引き抜いてください。無理に引っ張ると、車両側ハーネス及びコネクタ、ナビユニット側コネクタピン及び基盤等が破損や、断線する恐れがあります。
注	ハーネスの接続はコネクタがカチッと言音が出るまでしっかりと差し込み、接続不良を起こさないように注意してください。
注	本製品は車両側の適切な場所へ両面テープ（製品付属）やタイラップ等で固定してください。固定しないと接触不良や断線の原因になる恐れがあります。
注	取り付けの際は、シートベルト、ペダル類、ドアなどの可動部にハーネス類や本体の挟み込み、また挟まれる可能性がある場所には、設置しないでください。製品の破損や断線による事故、火災、感電等の恐れがあり危険です。
危	取り付け終了後に走行を伴う動作テスト等を行なう際は、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方が動作テスト作業を行ない、運転手はモニターを注視しないでください。
重	本取扱説明書に取り外し要領が記載されていない車両の作業を行なう際は、あらかじめその車両の内装脱着要領の資料を入手し、養生等をしっかりと慎重に行ってください。

スイッチについて（必ずお読み下さい）

注	エンジンを切り、キーをロックしてもしばらくは車両との通信が行なわれていますが、車両との通信が終了（OFF モード）時は、コンパクトスイッチが自動で消灯します。※車種によっては消灯するまでの時間が長い場合があります。
注	OFF スタートモードの場合、スイッチが淡く点灯し（ノーマル状態）、ノーマルと同じ状態ですのでテレビの視聴や、ナビの目的地設定はできません。
注	スイッチを本体へ接続しなければ、走行中にテレビの視聴や目的地設定をする事ができません。
注	テレビを見ながら走行中に地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。その場合は、スイッチを OFF 状態にしてしばらく走行してください。GPS を受信して自動的に補正され正規の自車位置へ復帰します。停車中や屋根がある場所では GPS をうまく受信できず補正されないので必ず屋外を走行してください。
注	車両によって目的地設定をする際、自車位置がその場で固定され走行中の正規の現在地に対してズレが生じます。その際は、OFF モード（淡く点灯）または TV モード（点灯）に切り替えて走行をすると、正規の現在位置へ自動修正されます。

Q.---ON スタート状態に設定した場合、コンパクトスイッチは接続しなくても使用可能ですか？

A.---使用できません。ON スタート状態、OFF スタート状態に関わらずスイッチは必ず接続してください。

Q.---走行中、DVD や Blu-ray Disc は視聴可能ですか？

A.---視聴可能です。ただし、ナビ、オーディオユニットに DVD や Blu-ray Disc の再生機能がある場合に限ります。

Q.---本製品を取り付けてからパワーウィンドウなどが操作できなくなりました。故障ですか？

A.---取り付けの際、バッテリーのマイナス端子を外した事によって、車両の設定がリセットされてしまった可能性があります。
取付説明書の「取り付け後の確認作業事項」をご覧ください。

Q.---製品を取り付けた状態で車検は通りますか？

A.---問題ありません。
ただし、コンパクトスイッチや本体を運転や視界の妨げとなる位置に取り付けた場合は車検に通らない場合があります。
また、自動車ディーラーや販売店などに車検や点検等で出す場合は、必ず本製品を取り外してください。

Q.---エンジンをかけたらチェックランプが点灯し、TV が見られません。

A.---コンパクトスイッチ点滅している場合は、車両との CAN 通信が正常に行えていない可能性があります。
取り付け手順に従い、再度取り付け確認を行ってください。
また、取り付けの際にハーネスがしっかりと挿し込まれていない場合や、ナビ、オーディオユニットや内装パネルに挟み込まれ、
ハーネスが破損していないか再度ご確認ください。
※チェックランプが点灯した状態での走行は非常に危険です。速やかに車両を安全な場所へ停車し、エンジンを切り、
まずは販売店・取り付け店に相談してください。

Q.---TV モード（TV 視聴可能）なのに音声のみで映像が映りません。

A.---車種によっては、TV 視聴可能になるまでに時間がかかる場合があります。
TV JUMPER が ON 状態になっているかご確認ください。

Q.---エンジンを切っても、コンパクトスイッチの赤 LED が消えません。大丈夫ですか？

A.---車両のエンジンを切っても CAN の通信が動作しているため LED が光っています。
車両を施錠してしばらくすると CAN 通信が停止し、コンパクトスイッチの LED が消灯します。
メーカーや車種によって通信が終了する時間までが異なり、CAN 通信が停止するまでに最大 15 分程度かかる場合があります。
※しばらくしても消えない場合は、点検または、本体を取り外しサポートセンターまでお問い合わせください。

Q.---コンパクトスイッチが高速で点滅しています。

A.---コンパクトスイッチが約 0.5 秒間隔で高速点滅状態になった場合、車両との CAN 通信が正常に行えていません。
エンジンを始動し、車両の CAN 通信を正確に認識すると通常の動作モードに移行します。

Q.---アイドリングストップが動作しなくなりました。故障ですか？

A.---バッテリーのマイナス端子を外したことによって、設定が初期化されてしまい、アイドリングストップが動作しなくなる場合があります。
詳しくは取付説明書をご覧くださいか、自動車ディーラーにお問い合わせください。

Q.---バッテリーのマイナス端子を外す、または取り付ける際に注意する事はありますか？

A.---感電の恐れがありますので、水などで濡れている場合はしっかり水分をふき取り、ゴム手袋をつけるなど絶縁してから慎重に作業を行なって下さい。また、外した端子の先には、ウエスや雑巾などを巻いて、端子がバッテリーなどに直接触れないようにしてください。

Q.---メーカーでのナビのバージョンアップや、車両の定期点検などに出す際の注意点はありますか？

A.---ナビのバージョンアップ、修理・点検などで自動車ディーラーに入庫する場合は必ず本製品を取り外してから入庫してください。
また、本製品を装着した状態でナビのバージョンアップを行った場合、本製品が破損する可能性が考えられます。

製品についてのご相談及びお問い合わせについて

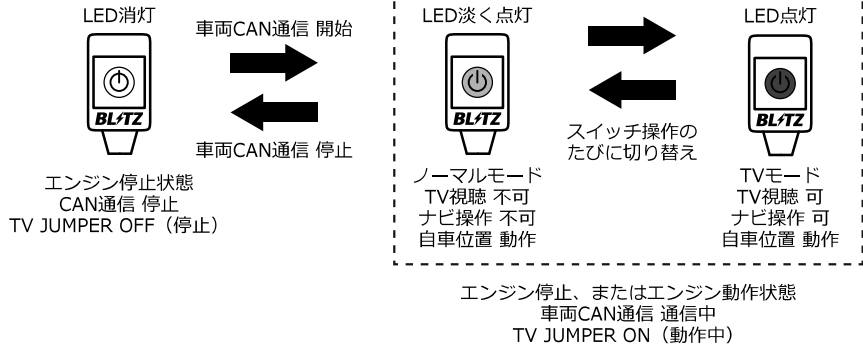
製品に関するお問い合わせ、ご連絡は電話にて下記宛にお願いいたします。

☐ 連絡先 **株式会社ブリッツサポートセンター**
☐ 住所 **東京都西東京市新町 4-7-6**
☐ TEL **0422-60-2277**
<http://www.blitz.co.jp/>

NCA10

操作・取付説明書

コンパクトスイッチ動作

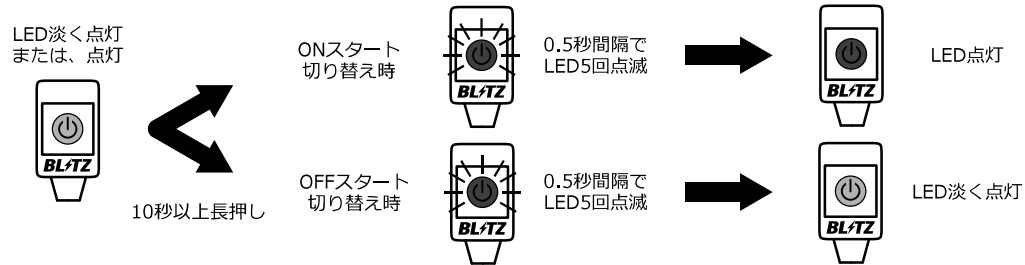


▲ 注意

本製品が適合する車両はエンジンを停止しても車両のCAN通信がすぐに停止しないため、コンパクトスイッチのLEDはしばらく点灯し続け、コンパクトスイッチが操作できる状態のままとなります。車両をドアロックして一定時間が経過するか、ドアの開閉、ペダルや車内のスイッチ類の操作が一定時間行われなければ、車両のCAN通信が停止し、コンパクトスイッチのLEDも消灯します。また、コンパクトスイッチのLEDが消灯状態でエンジンを始動していても、車両のドアロックの解除やドアの開閉、ペダルや車内のスイッチ類の操作が行われると、車両のCAN通信が開始され、コンパクトスイッチのLEDが点灯しますが、製品の不具合ではありません。

ONスタート / OFFスタート切り替え

本製品はエンジン始動時にコンパクトスイッチを10秒以上長押しすることで、TV JUMPERのONスタート/OFFスタートを切り替えることで、ONスタートにすることで、エンジン始動時からTVが視聴可能状態となります。コンパクトスイッチの10秒以上長押しの操作を行うたびに、ONスタート/OFFスタートが切り替わります。



コンパクトスイッチが点滅した場合

本製品は車両のCAN通信を判別し、取り付け車両に応じて自動で通信を確立する機能を搭載しています。車両のCAN通信判別中は速い間隔（約0.25秒間隔）でコンパクトスイッチのLEDが点滅動作を行います。取り付け作業後など、エンジンを始動していない状態でコンパクトスイッチのLEDが点滅状態となる場合がありますが、エンジンを始動して通信が確立できると、LEDが淡く点灯もしくは点灯状態に移行し、TV JUMPERが動作状態になります。

CX-3 (15/02- DK5**)

- ① 破線で覆った部分に、小さな隙間があるので、そこにマイナスドライバーなどを差し込み、持ち上げるようにしてツメ（3ヶ所）を外し、オーディオパネル No.2 を外して下さい。（図 1 参照）
※マイナスドライバーなどを使用する際は、内装を傷つけないようにしっかり保護して下さい。
- ② 上側に持ち上げるようにして、かん合（7ヶ所）を外し、オーディオパネル No.1 を外して下さい。（図 2 参照）
※ディスプレイ背面やその周辺にオーディオパネル No.1 が干渉し傷が付かないように、しっかり保護して下さい。
- ③ ディスプレイ手前側にあるボルト（2本）を外し、センターディスプレイ ASSY を上方向へ引っ張りかん合（2ヶ所）を取り外した後、センターディスプレイ ASSY を手前側に引き抜いてください。（図 3、4 参照）
※この時コネクティビティマスターユニット部分が破線で覆った部分に干渉し内装に傷が付く場合がありますので、しっかり保護して下さい。

～以上でセンターディスプレイ ASSY の取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

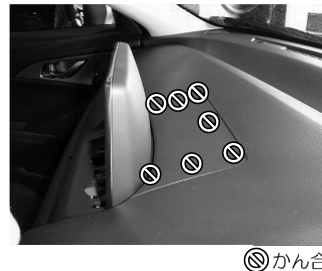
- ① コネクティビティマスターユニット（CMU）背面の 18 ピンコネクターにハーネスを取り付け下さい。（図 5 参照）
- ② 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ③ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ④ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して下さい。

図 1



✦ ツメ

図 2



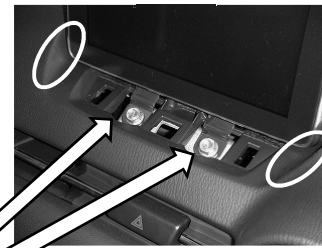
○ かん合

図 3



⦿ かん合

図 4



⬠ ボルト

図 5



18 ピンコネクター

- ① グローブボックスを開け、助手席側からかん合（14ヶ所）、コネクター類を外し、デコレーションパネル（エアコン吹き出しロー）を取り外して下さい。（図 1 参照）
- ② 手前に引き出すようにして、かん合（6ヶ所）、ツメ（3ヶ所）をそれぞれ外し、センターパネルを取り外して下さい。（図 2 参照）
- ③ センターディスプレイ ASSY の両サイド 1ヶ所ずつあるビス（計 2ヶ所）、センターディスプレイ ASSY 下奥にあるボルト（1ヶ所）、かん合（4ヶ所）をそれぞれ外し、センターディスプレイ ASSY を手前に引っ張り取り外して下さい。（図 3 参照）

※この時、センターディスプレイ ASSY 下側のボルトのステーが、ヒーターコントロールユニットと干渉し、両方に傷または破損する恐れがあるので、ヒーターコントロールユニットの上部をしっかりと保護してから作業を行なって下さい。

～以上でセンターディスプレイ ASSY の取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

- ① コネクティビティマスターユニット（CMU）背面の 18 ピンコネクターにハーネスを取り付け下さい。（図 4 参照）
- ② 本製品本体を固定して下さい。センターディスプレイ ASSY を戻す際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ③ 取付確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ④ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。

図 1



図 3



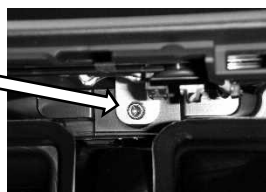
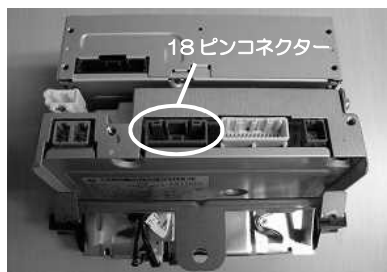
注 破線部で覆った部分周辺を保護して下さい。

○かん合
●ボルト
×ビス

図 2



図 4



- ① グローブボックスを開け、助手席側からかん合（12ヶ所）、コネクター類を外し、デコレーションパネル（エアコン吹き出しロー）を取り外して下さい。（図 1 参照）
 - ② 手前に引き出すようにして、センターディスプレイ ASSY 下奥になるボルト（1ヶ所）、かん合（5ヶ所）をそれぞれ外し、センターディスプレイ ASSY を、モニター下のパネルごと取り外して下さい。（図 2 参照）
- ※この時、センターディスプレイ ASSY 下側のボルトステーが内装と干渉し、両方に傷または破損する恐れがあるので、しっかりと保護してから作業を行なって下さい。

～以上でセンターディスプレイ ASSY の取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

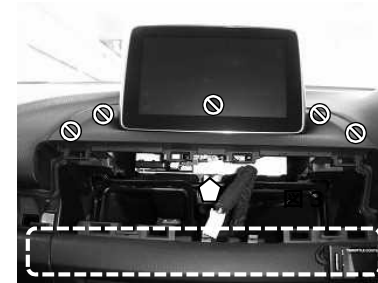
- ① コネクティビティマスターユニット（CMU）背面の 18 ピンコネクターにハーネスを取り付けて下さい。（図 3 参照）
- ② 本製品本体を固定して下さい。センターディスプレイ ASSY を戻す際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ③ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ④ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。

図 1



○かん合

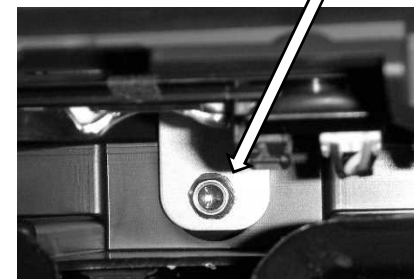
図 2



注 破線部で覆った部分周辺を保護して下さい。

○かん合
●ボルト

図 3



アテンザ (15/01- GJE**, GJ2**, GJ5**)

- ① 手前側に引っ張るようにして、かん合 (4 ヶ所)、ツメ (4 ヶ所) を外し、メーターフードカバーを浮かせて下さい。この時、取り外すのではなくかん合とツメを外して浮かせるだけで大丈夫です。(図 1、2、3 参照)
- ② グローブボックスを開け、助手席側からかん合 (17 ヶ所)、コネクター類を外し、デコレーションパネル (エアコン吹き出しロー一体) を取り外して下さい。(図 4 参照)
- ③ かん合 (7 ヶ所) を外し、オーディオパネルを取り外して下さい。(図 5 参照)
※この時、プッシュスタートボタンが一緒に付いてきますので、そのコネクターも切り離してください。
- ④ 手前に引っ張るようにして、かん合 (4 ヶ所)、ボルト (1 ヶ所) を外し、センターディスプレイ ASSY を取り外して下さい。(図 6 参照)

～以上でセンターディスプレイ ASSY の取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

- ① コネクティビティマスターユニット (CMU) 背面の 18 ピンコネクターにハーネスを取り付け下さい。(図 7 参照)
- ② 本製品本体を固定して下さい。センターディスプレイ ASSY を戻す際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ③ 取付確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ④ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。

図 1



左側 かん合

図 2



全体 かん合

図 3



右側 かん合

図 4



かん合

図 5



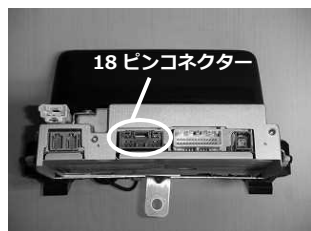
かん合

図 6

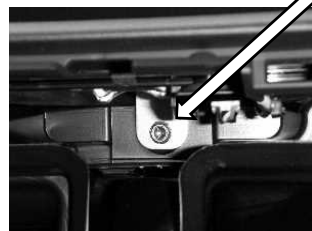


かん合
ボルト

図 7



18 ピンコネクター



デミオ (14/09- DJ3**, DJ5**, DJL**)

- ① 破線で覆った部分に、小さな隙間があるので、そこにマイナスドライバーなどを差し込み、持ち上げるようにしてツメ (3 ヶ所) を外し、オーディオパネル No.2 を外して下さい。(図 1 参照)
※マイナスドライバーなどを使用する際は、内装を傷つけないようにしっかり保護して下さい。
- ② 上側に持ち上げるようにして、かん合 (7 ヶ所) を外し、オーディオパネル No.1 を外して下さい。(図 2 参照)
※ディスプレイ背面やその周辺にオーディオパネル No.1 が干渉し傷が付かないように、しっかり保護して下さい。
- ③ ディスプレイ手前側にあるボルト (2 本) を外し、センターディスプレイ ASSY を上方向へ引っ張りかん合 (2 ヶ所) を取り外した後、センターディスプレイ ASSY を手前側に引き抜いてください。(図 3 参照)
※この時コネクティビティマスターユニット部分が破線で覆った部分に干渉し内装に傷が付く場合がありますので、しっかり保護して下さい。

～以上でセンターディスプレイ ASSY の取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

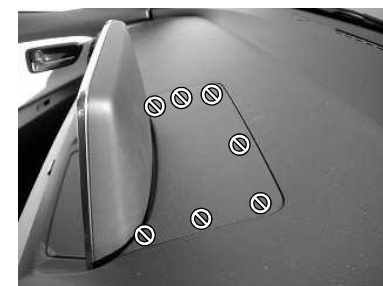
- ① コネクティビティマスターユニット (CMU) 背面の 18 ピンコネクターにハーネスを取り付け下さい。(図 4 参照)
- ② 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ③ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ④ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して下さい。

図 1



ツメ

図 2



かん合

図 3



かん合
ボルト

図 4



18 ピンコネクター

ロードスター (15/05- ND5RC)

- ① 助手席側スキャッププレートを取り外して下さい。
- ② 助手席側フロントサイドトリムを取り外して下さい。
- ③ 助手席側 A ピラートリムを取り外して下さい。
- ④ ロアパネルを取り外して下さい。
- ⑤ センターパネルを取り外して下さい。
- ⑥ メーターフードを少し浮かせるようにし、センターディスプレイを取り外して下さい。

～以上でセンターディスプレイ ASSY の取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

- ① コネクティビティマスターユニット (CMU) 背面の 18 ピンコネクタにハーネスを取り付け下さい。(図 5 参照)
- ② 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ③ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ④ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して下さい。

取り付け後の確認作業事項

本製品を取り付ける際、バッテリーのマイナス端子を外す事で、場合によっては、設定がリセットされてしまい、動作しなくなる場合があります。その場合は、下記の方法、または、車両の取扱説明書等をお読みになり、初期設定をして下さい。

- ★パワーウィンドウ……各ドアのパワーウィンドウをそれぞれのスイッチで全開から全閉にし、さらに 5 秒以上スイッチを閉る方向へ操作し続けて下さい。
- ★パワーバックドア……バックドアを手動で、全開、全閉を行なって下さい。
- ★電動サン・ムーンルーフ……ルーフが可動できる動作をすべて行い、チルトアップボタンまたは、全開、全閉ボタンを操作し続けて下さい。
- ★バックガイドモニター……平坦な駐車場などに車を止め、バックモニターを表示させた状態で、左右両側にステアリングをすり切りまで切って下さい。

～タイヤ空気圧警告灯が点灯した場合～

バッテリーのマイナス端子を外したことによって、実際のタイヤの空気圧は正常なのにも関わらず、警告灯が点灯する場合があります。その際は、下記の手順で警告灯を消して下さい。

1. パーキングブレーキをかけ、停止した状態で 4 輪すべてのタイヤが冷えていることを確認し、規定値の空気圧に調整して下さい。
2. 電源ポジションを ON にして下さい。
3. 停止した状態で、タイヤ空気圧警告灯が 2 回点滅しピーブ音が 1 回鳴るまでタイヤ空気圧警報システムセットスイッチを押し続けて下さい。
4. メーター内のディスプレイに初期化できたことを示すメッセージが表示されたら終了です。

～しばらく走っても i-stop が動作しない場合～

1. 暖気後に無負荷で約 10 分間アイドル放置して下さい。
 2. IG-ON 後 5 秒以内に i-stop OFF スwitch を 3 秒以上押して下さい。
 3. エンジンを開始し、i-stop OFF スwitch を 1 回押して下さい。(i-stop インジケーターが緑色点滅を開始)
 4. i-stop インジケーターが消灯するまでアイドル放置して下さい。(最長で約 60 分程度)
 5. i-stop インジケーターが消灯したら車速 3km/h 以上で走行し、アイドリングストップが動作するか確認して下さい。
 6. アイドリングストップの動作が確認できた場合は、一旦エンジンを切り、再度エンジンを始動して問題なく動作したら初期学習作業終了です。
- ※アイドリングストップが作動しないまたは、i-stop インジケーターが緑色点滅するなどの場合は、もう一度最初から作業を行なって下さい。



※上記の初期設定は、警告灯が点灯してしまったり、アイドリングストップが正常に動作しない場合のみ作業を行なってください。

※車種・年式などによっては必要ない場合があります。

※上記初期設定（学習）方法は代表例です。車種・年式によっては、ディーラーや販売店に入庫する必要がある場合があります。